

北海道教育委員会教育長 様

北海道岩見沢東高等学校長 渡 辺 淳 一

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1)学校課題の発見、確認及び検証に努め、組織的・効率的に学校づくりを進める。 (2)洞察力と先見性を持って研修に努め、岩東教育の一層の発展を推進する。 (3)保護者や関係機関及び地域との連携により、開かれた学校教育を推進する。 (4)服務規律の保持に努めるとともに、同僚性の高い健康的な職場づくりを推進する。
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価
学習指導	○各教科において、「主体的、対話的で深い学び」を重視した授業実践に努めている。 ○BYODによる授業研修をすすめたことに加え、各種インターネットサービスの利用により生徒の主体的な学習を目指した。	・主体的、対話的な授業の成果が出てきていると思います。 ・素晴らしい取組だと思います。対話型が指導型よりも学びが大きいと思います。
改善方策	・生徒の実態を踏まえ、授業展開や指導法を工夫し、学力の向上に努める。 ・「主体的、対話的で深い学び」を目指し、各授業や「総合的な探究の時間」等で実践した。	
生徒指導	○いじめや生徒間のトラブルの未然防止に向け、アンケートの実施及びそのような兆候があれば必要に応じた指導・支援を組織的・継続的に行った。 ○生徒会主催の学校行事は、生徒会を中心に自主的な運営を目指し、実践した。	・特別な問題は聞こえてこない。 ・学校と生徒の関係は良好だと思います ・今後は社会でのハラスメントについても言及し、いじめも犯罪につながる旨、伝えていくことが重要だと思います。
改善方策	・引き続き担任や各活動に関係する教員で、面談の実施および日ごろからの様子の観察を進めるとともに、教員間で情報を共有しながら必要な指導・支援を随時行う。また、いじめは絶対に許さないという意識の共有を図るため、校内研修を行う。 ・より良い行事運営を進めるとともに、統合を見据え新しい学校の生徒会活動を模索する。	
進路指導	○大学等の外部関係機関と連携した学校説明会、講演等を開催することができ、生徒の進路意識の高揚に寄与した。 ○個別面談・教育相談、生徒のニーズに応じた適切な教科指導、講習等を実施することができ、生徒の進路実現をサポートした。そのことで現役での医学部医学科合格者を複数名出すことができた。	・寄り添った指導ができています。 ・生徒自身の努力はもちろん、個々の生徒に対して目標と意識を高く持たせ、根気強く指導したことが成果にあらわれたのだと思います。 ・指導はこのまま継続でお願いします。
改善方策	・引き続き、外部関係機関との連携を図りながら、学校説明会、講演、講義等の実施について、実施方法や内容等を検討し、進路選択に係る最新情報の提供や進路指導・支援の充実を図る。 ・生徒の学力や質が変化する中、生徒一人一人に対してICTを活用を含めた学習指導や進路指導等を日ごろの個別相談をとおしてきめ細かく行っていく。	
その他	○外部への情報発信の一手段として、学校HPは好評を得ている。新設校としての情報を整理し、更なる魅力を発信していきたい。 ○「働き方改革」に係る職場の意識高揚を図りながら、在校等時間の縮減や長時間勤務の解消に務め、ストレスチェックの値が改善した。	・生徒の新設校での生活へのサポートをよりしくをお願いします。 ・子どもたちの働きたいと思う職業環境を目指してください。
改善方法	・学校HPの運用については、日々の情報更新や部局活動に係る情報発信をさらに進めるほか、スタディーサブリを有効に活用し生徒・保護者に効果的な情報発信を行う。 ・引き続き変形労働時間制の活用や休暇の積極的な取得、定時退勤日の設定、職場における業務の平準化等に取り組む。	

公表方法	・PTA総会、保護者説明会等で公表する。 ・本校HPで公開する。
------	-------------------------------------

3 添付資料
学校評価集計結果(生徒・保護者・教員)